

◆二ヶ領宿河原堰の摩耗状況調査を実施しています

多摩川の中流部は石礫が多く、洪水時には洪水流と一緒にその石礫が大量に流下するため、水流の強いところにある構造物の摩耗が発生します。

このため、二ヶ領宿河原堰では、摩耗状況を把握し、摩耗による構造物の被災を未然に防止し、予防保全的に対策を行う事を目的に、あらかじめ堰の床版に設置された摩耗ゲージを定期的に計測した上で、必要な対策を行う事としています。計測の結果、大きな摩耗が確認された場合には対策を実施します。



二ヶ領宿河原堰の下流部で実施

